

## 第 70 号

編集・発行  
白山高等学校PTA印刷  
伊藤印刷株式会社

2020. 7

御  
挨拶

本年度白山高等学校のPTA会長を務めさせて頂くことになりました石本です。

本年度は新型コロナウイルスの影響により、この先の学校生活や部活動、そして子どもたちの進路はどうなっていくんだろうと心配されている方も多いと思います。

しかし、この新型コロナウイルスのおかげで「当たり前」「普通」の生活が一番の幸せなんだと考えさせられ、日々の何気ない生活を一生懸命生きることに大切さを実感しました。保護者として、不安が尽きることはありませんが、少しずつ授業も部活動も再開し、子どもたちの笑顔も戻りつつあります。

今回の事で、学校運営においてはオンラインでの授業やHR、登下校が密にならない様に従来の交通手段に加えて、臨時バスを手配するなど、子どもたちが安全に学校生活が過ごせるように考えてもらっています。

## PTA会長 石本 あけみ

私たちPTAも、子どもたちのために、これから何をすべきかを考え、今までは違う新しい活動に取り組んでいかなければなりません。つきましては、保護者の皆様にP

御  
挨拶

平素より本校の教育活動並びにPTA活動の充実・発展に御理解・御協力いただき、誠にありがとうございます。

今年四月一日付けの人事異動で本校に着任し、約三か月が経過しました。

着任直後から保護者の皆様におか

TA行事などに積極的に参加していただきたくお願いいたします。

また、その際に、これからのPTA活動をより良いものにしていくために皆様から建設的なご意見を伺えればと考えております。

子どもたちの輝く未来のために、充実した学校生活が送れるよう先生方や地域の皆様、そして私たちPTAが「ワンチーム」になれるよう、私も努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

## 校長 堀 昌弘

れましては新型コロナウイルス拡散防止の取組にご協力いただきましてありがとうございます。

長期間にわたる臨時休校措置や学年別の登校、ICT機器を活用した遠隔リモートによるHRや授業配信など、これまで経験したことない状況への対応に感謝いたします。

特に入学間もない新入生には、延期された入学式から六月一日の本格的な学校再開まで、大きな不安を感じているのでは、と心配しております。現在、登校する生徒の明るい声が聞こえる学校で直接教育活動ができることに、教職員一同喜びを噛みしめているところです。

さて、生徒には、白山高校の三年間で「命を守ること」、「たしかな力を身につけること」の二つを学んでほしいと思います。

命を守ることは、事故や災害から身体を守ることで、いじめや人権侵害から心を守ることです。前者は交通事故や事件、台風や地震などは勿論今回のコロナ対策など病気感染への対応も含みます。想像力を働かせた危険予知や危機発生時に対応する知識の習得、避難訓練などの危機回避の力が求められています。後者については自分を大切にすること、他人を大切にすることは同じことであるということを理解してほしいと思います。偏見や差別を見極める力、他者の痛みを共感的に受け止め共に解決に向けて行動する力が求められています。

確かな力とは、これからの予測困難な時代を生き抜いていくために必要な力のことです。社会人として求

められる基礎学力、規範意識、コミュニケーション力を身につけ、生涯にわたって主体的に様々な課題に立ち向かっていくことができるようになってほしいと思います。

そのような力を生徒に育成するためには、学校・家庭・地域社会が役割分担を果たしつつ、相互に連携して教育に取り組む必要があります。

本校ではコミュニティ・スクールの取組が八年目を迎え、学校運営協議会が地域社会との連携という視点から本校の教育活動をしつかり支援してくれています。

家庭との連携においては、PTAは要となる存在です。家庭教育はすべての教育の原点として、子どもたちの基本的な生活習慣、自尊感情、思いやり、規範意識、健康・体力などを育てるうえで重要な役割を担っています。

白山高等学校PTA会員の皆様におかれましては、本校教育活動の充実・発展のため、今後より一層の御理解・御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



## 各分掌より

### 「白山高校の教育」

#### 教務部

平素は白山高校の様々な教育活動にご理解とご協力を賜りまして厚くお礼を申し上げます。今年もよろしくお願いいたします。

本校では、学校が取り組む姿勢として「あいさつ・ルール・美化の三つの言葉を核に進める」というのがあります。教務部としても、「一・きちんと挨拶ができる。」「二・時間を守り、身の回りの整理・整頓、掃除などができる。」「三・相手の気持ちを考えて、ルールを守り適切に行動することができる。」の三つの目標を掲げて取り組んでいます。また、卒業後の進路希望をかなえられるように、また、社会人にふさわしい知識や態度の形成のため、三年間の授業を中心とした学習活動をはじめ、部活動、生徒会活動などいろいろな活動を通して進めています。

基礎的な学力をつけるための「朝学」と言われる「朝の学習」に力を

入れて取り組んできましたが、今年度は新型コロナウイルスによる感染防止のために、朝の健康チェックの時間を導入しております。朝学ができていない分、日々の授業の時間を大切にし、少しでも生徒にとってわかりやすい授業ができるよう、「ユニバーサルデザイン授業」を行うことに力を入れています。また、一年生のほとんどの科目の授業で、クラスを分割した授業、TT（チームティーチング）の授業を行い、きめ細かい指導とともに、落ち着いて授業を受けられる環境づくりを進めており、生徒が落ち着いて安心して授業を受けられるように取り組んでいます。

教科・科目の特徴として、一年生の「総合的な探究の時間」では、週一回の授業ですが、年間を通して六つのテーマで学習をして広い知識や考え方を養い人間力を高めようと考えています。今年度のテーマは、「福祉、人権、生涯スポーツ、国際理解、文化研究、コミュニケーション学習」です。また、三年生の「総合的な探

究の時間」では、年間を通してのインターンシップを、地域の事業所の皆さんにご協力をいただき、実施する予定でした。しかし、こちらも新型コロナウイルスによる感染防止のために一時中止を余儀なくされてしまいました。現在は、面接指導、作文指導、一般教養・基礎学力の指導に力を入れ、進路実現に向けて取り組んでいます。

教育課程については、現在の三年生の入学時から新しくなっており、今年度で三学年ともに教育課程がそろいます。選択授業が多く、生徒一人一人が自分に合った授業を選んでいきます。これまで以上に充実した教育活動を目指しつつ、令和四年度から新学習指導要領に伴う授業が始まるため、新しい教育課程の編成も進めております。

このような学習活動を通して、生徒が成長することを願い、生徒の意欲に応えるためのサポートをさせていただきますので、今後ともご協力をお願いいたします。



## 『日進月歩』

### 生徒指導部

最初に、コロナウイルスの感染拡大の影響から、分散登校のためバスの運行を行うなど、さまざまな面で昨年度とは異なる状況となっており、そんな中でも、生徒たちが柔軟に対応し、協力し合う姿をみると心強く思います。ご家庭におかれましては、ご協力いただきありがとうございます。

白山高校では、「あいさつ」、「ルール」、「美化」の三つのことばを大切にしています。「あいさつ」については、生徒指導部や生徒会が中心となつて毎朝校門前で挨拶運動を行っています。生徒会の生徒たちが、毎朝元気にあいさつ運動をしてきているので、多くの生徒がそれに対し、あいさつを返してくれれます。中には恥ずかしがつて礼だけの生徒、または、声に出なくてニコッと笑ってくれる生徒もいます。しかしながら、一部の生徒は返事もないまま校門を通っていきまはす。少し残念で寂しく思います。やはり、あいさつは生活の基本ですから、今後もしっかり続けていきたいと考えています。

「美化」については、生徒会メンバーと生徒会顧問が毎朝、ゴミ拾いをしていきます。登下校のゴミは年々少なくなっており、生徒一人ひとりのモラルが向上していると思います。今後も粘り強く啓発を行っていきます。

「ルール」については、生徒指導部から学校のルールについて生徒にたくさん言葉掛けをします。社会に出て頼られる人間になるために、ルールを守ることは大変重要なことだと思います。

日ごろから生徒にはよく言っていますが、人間は成長していく過程で必ず失敗をするものです。しかし、その失敗から成功へつながる何かをつかむことが大切で、それを学ぶところが学校なのだと思えます。例えば安易に遅刻を繰り返してしまつても、遅刻指導のあと、全く遅刻をしなくなった生徒たちがいます。おそらくその生徒たちは「遅刻はだめ」ということを感じてくれたのでしょう。白山高校には、そのように気付いてくれる生徒がたくさんいます。失敗から得る教訓を大切に、日に日に絶え間なく成長、進歩してくれる生徒が今後も増えるよう、生徒指導部としては、時に厳しく、時に優しく生徒を見守っていききたいと思えます。

## 白山高校の進路指導

### 進路指導部

各学年とも一学期に進路オリエンテーションを実施し、一年次は二期以降に地元企業との交流会や職業別体験授業（体験型ガイダンス）、二年次にはインターンシップ、企業・学校見学会、全職員による面接指導、三年次には各種の全体指導、就職相談会への参加、面接指導、夏期セミナー、赴任指導など、各学年に応じて、大きく進路をとらえるところから具体的に方向性を決めていくところまで、順に生徒一人ひとりに現在と将来をしっかりと見つけさせることができますような進路指導をすすめています。時には近年卒業した先輩たちを招いてお話を聞いたり、様々な専門分野の外部の方からお話をうかがう機会を設けたりもしています。自宅から通えるところでの進路実現を希望する生徒たちが、卒業後地域を愛し、地域を活性化してくれるよう、地域のみなさんご助力も得ながらキャリア教育を充実させていきます。

ところで、今年は異例の事態となりました。三月からほぼ三ヶ月休校になった影響を受け、予定していた

進路関係の行事もできなくなりまし  
た。

しかし、三年生は、五月には分散  
登校を先取りして、三月にやれな  
かった面接の基本を指導し、一般常  
識に関する学習活動も始め、進路に  
向けての個別面談も実施すること  
で、遅れた分の多くを補うことができ  
ました。ただ、新二年生には、三月に  
行う予定だった体験型のガイダンス  
は実施できないまま現在にいたって  
おり、夏のインターシップや進路フェ  
スタも中止となってしまう、将来を  
見据えてじっくり進路を考える機会  
を提供できないままになっておりま  
す。

三年生はいよいよ就職活動本番に  
突入していきます。就職関係の日程



6月11日 3年生進路ガイダンスより

を一カ月遅らせるといった大きな変  
更があり、それへの対応も求められ  
てはいますが、できるだけ希望に添  
えるよう、また個々の適性にあつた  
ところを紹介していきけるよう今年度  
も就職アドバイザーやハローワーク  
のジョブサポーターのご協力も得な  
がら進めてまいります。

五月の分散登校以来、厳しめの頭  
髪指導を行い、進路ガイダンスなど  
企業や大学専門学校の方の話を直接  
聞く場を設けるとともに、一般常識  
をテストし、『進路のてびき』を活用  
したガイダンスを行い、面接指導に  
も取り組んでおります。そこからは、  
それぞれが自分の進路希望の実現に  
向けて、前向きに取り組もうとする  
意欲が感じられます。

最後まで手を抜かず、一人ひとり  
の希望実現にむけて精一杯支援して  
まいります。今後ともご支援、ご協  
力をお願いいたします。

## 保健部より

### 保健部

日頃より、新型コロナウイルス感  
染症対策のため、御家庭での検温や  
マスクの着用等の御協力をしていた



だきまして、ありがとうございます。

本校の保健室では、健康診断、健  
康相談、応急処置を行っております。  
生徒の来室理由としては、頭痛、腹  
痛、気分不良などが多いです。朝  
から体調が悪くても、無理をして登校  
して来る生徒も多いので、御家庭で  
もお子様の体調管理をよろしくお願  
いいたします。

また、その他の活動としまして、性  
に関する指導、薬物乱用防止教育な  
ども行っています。今年度は、感染  
症予防として、部活動生を対象に、  
手洗いチェッカーを用いた手洗い指  
導も行いました。

本校には、スクールカウンセラー、  
スクールソーシャルワーカー、発達  
障がい支援員など、専門的な知見を

持つ方々も相談活動を行っていた  
いでいます。お子様のことでお困り  
なことがありましたら、保健室まで  
御連絡をいただければ、面談などの  
日程を調整させていただきます。  
今後とも、白山高校保健部の活動  
に御協力をお願いいたします。

## 白山高校図書館の紹介

### 図書館

(概要)

- 蔵書数…約一五、〇〇〇冊
- 新聞…三誌
- 雑誌…十誌
- 検索・学習用パソコン…三台
- 座席数…四十八席
- 貸出冊数…一〇冊まで
- 貸出期間…二週間

白山高校図書館は二棟三階に位置  
し、クラスの教室と近いいため、授業  
の間の休憩時間にも生徒が気軽に来  
館します。読書や勉強、電車待ち、  
くつろぎの場所として利用されてい  
ます。

学校図書館は、読書相談や生徒が  
本に親しむように取り組んでいます。  
六月に「梅雨の読書キャンペーン」、

七月に「白山高校生に読んでほしい本」の冊子の発行、秋の読書週間に「図書委員のおすすめ本」の展示などを行います。また、調べ学習で必要な資料を提供するなど、学習活動を支援しています。

本校図書館の蔵書は、生徒を通じて保護者の方も御利用いただけます。ホームページにて、新着図書案内を掲載しております。また、公開授業、保護者会期間中は館内を閲覧できますので、ご活用ください。



## 生徒会より

### 生徒会

生徒会では、毎日生徒会役員と生徒会顧問で通学路のゴミ拾い、名松線の清掃、朝の挨拶運動を行っています。毎朝家城駅まで行って電車中の清掃を行うのですが、電車から降りてくるほとんどの生徒が元気に挨拶をしてくれます。電車内にゴミ

が落ちていることもほとんどありません。しかし、全員ができていないとそうではありません。挨拶がうまくできない生徒もいますし、ごみも時々落ちていて拾うことがあります。そのため、これからも粘り強く活動を続け、生徒一人ひとりの意識向上に取り組みたいと思います。

また校内の行事に関しては、新型コロナウイルスの影響で、例年であれば一学期に予定されていた体育祭が二学期に延期になりました。この先状況が悪化すると、体育祭や文化祭と言った大きな行事も中止せざるを得ない可能性があります。しかし生徒会としては、三年生にとつて高校生活での大切な思い出になる行事なので、できる限り実施できる方向で考えていきたいと考えています。生徒からもアイデアを出してもらい、安全に実施できて、なおかつみんなが楽しめる行事を企画していきますので、今後ともご支援、ご協力をお願いします。



## 部活動の紹介

### 硬式野球部

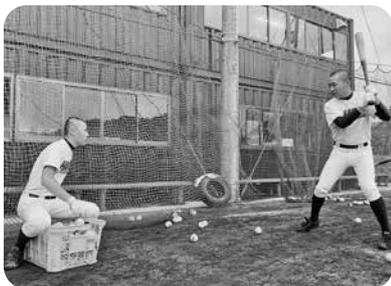
私達白山高校野球部は、現在三年二十三名、二年二十五名、一年二十一名、マネージャー三名の計七十二名で日々の練習に励んでいます。新チームになり、先輩達から引き継いだ、下克上魂、苦しい中でも粘り強く最後まで諦めずに戦う気持ちを大切にしたいとスタートしました。

秋季大会中勢地区予選一次予選では決勝で津商業高校に敗れ、二次予選決勝で高田高校に敗れ、三次予選で久居農林高高に勝利し出場した県大会では、三重高校に0-7で敗退し、悔しい新チームのスタートとなりました。

秋には強豪校との練習試合を重ね、冬には個人のレベルアップ、チーム全体の団結力を鍛えようと日々練習に励んできました。そして迎えるようとしていた、春季大会。全国、全世界に広まった新型コロナウイルスの影響で、二月末から活動出来ず、目標の一つだった春季中勢地区予選は中止。そ

の後も三ヶ月の活動自粛の中で、甲子園開催、選手権大会も中止が決定されました。

今年度の三年生は、第一〇〇回選手権記念大会で、白山高校初の甲子園出場を果たすことが出来たとき、先輩達の活き活きとしたプレーを、スタンドから見守った部員達です。先輩達に頂いた貴重な経験を胸に、「今度は自分たちが甲子園で先輩達の果たせなかった一勝を！」を目標に頑張ってきただけに、言葉にならない悔しさがありますが、代替大会が開催されることに深く感謝し、ここでの頂点を目指して、今は日々練習に励んでいます。





練習が出来ることの喜び、仲間と白球を追う時間の尊さ、応援してくださっている方々への恩返し、様々な気持ちを胸に、今自分たち出来ることを精一杯やり、応援してください。最後に感動を与えられる皆さんに、最後に感謝していきます。

保護者の方々をはじめ、OBの方々、そして地域の皆様から、多く

のご支援、ご声援を頂き、部員、顧問一同、深く感謝いたしております。

高校野球に携わる者として、部員達には、野球生活を通して人としても大きく成長してもらいたいと願っています。最後の大会、チームの力一つにして一戦必勝で勝ち進んでいきます。応援よろしくお願いいたします。

### 陸上競技部

本年度陸上競技部は、男子十一名・女子一名の計十二名で活動をスタートしました。

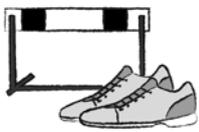
トラック種目は短距離・フィールド競技は投擲という種目に絞り、今年も全員自己記録の更新・全国総体決勝進出を目標に練習を重ねていました。

ところが、コロナウイルス感染拡大により今年の前半に予定されていた競技会が軒並み中止になりました。目標としていた競技会が無くなったことによる生徒たちの精神的ショックやモチベーションの低下が心配だったので、休校中も自主的にトレーニングを継続していたのとこの大会の中止が決まってく中、『陸

上競技をするのは、目標を達成して、家族や仲間を喜ばせ、地域や学校に刺激を与えることが目的。だから目的はそのまま目標を少し変えよう』と話をしました。言葉にするのは簡単ですが、実行するのは本当に大変なことです。それでも、モチベーションを下げることなく頑張り続けた生徒たちには、本当に驚かされました。

そんな中、陸上競技部にとって追い風となることがありました。  
**県高校総体の代替試合（伊勢）**  
 七月十一日（土）～十二日（日）  
**三重県陸上競技選手権大会（伊勢）**  
 七月二十五日（土）～二十六日（日）  
**全国高等学校陸上競技大会2020（広島）**  
 十月二十三日（金）～二十五日（日）

これらの大会の開催が決定し、生徒たちが活躍する場ができました。本当に有り難いことです。  
 三年生にとって集大成となる大会ですが、結果よりも、競技そのものを楽しむことを大事にしてほしいと思います。白山高校での陸上競技をやり切りましょう！



### バスケットボール部

男子バスケットボール部は現在三年生五名、二年生七名、一年生三名の計十五名で日々の練習を励んでいます。現三年生・二年生のメンバーで昨年度行われた新人大会において県大会ベスト16という結果を収めることが出来ました。地区大会では一回戦久居高校と対戦して87対58で勝利し、二回戦は上野高校との対戦でした。終始どちらが勝ってもおかしくない攻防を繰り返した最後の最後まで結果がわからない展開でしたが、75対71で勝利を勝ち取り県大会への出場を決めました。生徒の「勝ちたい」という気持ちが相手を上回り、部員全員が一つになった瞬間だったと思います。県大会では一回戦相可高校と対戦して、76対58で勝利し、二回戦では第二シードの海星高校と対戦しました。シード校の壁は厚く47対83で負けとても悔しい結果でした。  
 近年の結果では地区大会で初戦敗退という結果の壁がなかなか乗り越えなかったものの生徒が県大会に出たいという思いが年々強くなってきており、日々の厳しい練習を乗り越え、また、本校の他の部活動の結果に刺激され頑張ってくれたのではな

いかと考えています。また、保護者やOB、先生方の応援や支援の存在があったからだと思っております。部員、顧問一同深く感謝しております。今年度の目標は「県大会ベスト8」という新たな目標を掲げ、日々の練習に励み、様々な方から応援されるようなチームを目指して行きます。引き続き応援、ご支援の程よろしく御願致します。

## 卓球部

卓球部は、今春六名の部員が卒業し、五名の新入部員を迎え入れ、現在十二名で活動しています。(三年生三名、二年生四名、一年生五名)初心者から始めた生徒から地区予選を突破して県大会に出場する生徒まで、様々なレベルの生徒と一緒に練習しています。

生徒に日頃から言っていることが二つあります。一つ目は高校生として基本的な生活習慣をおろそかにせず、しっかりと授業を受け学力を身に付けることです。二つ目は選手として卓球という競技をとことん好きになり、三年間しっかりとやり切り自分自身に向き合うことです。そうすることが人間の幅を広げると考えて

います。

今は八月にある高校選手権大会に向けて日々取り組んでいます。今後とも引き続き温かい目で見守ってもらえればと思います。

## サッカー部

今年度のサッカー部は、三年生二名、二年生十名(内マネージャー一名)、一年生六名の計十八名で活動しています。三重県高校総体は残念ながら中止になりましたが、九月から開催予定のU18三重県サッカーリーグ三部、十月から開催予定の第99回高校サッカー選手権大会三重県予選に向けて日々練習に励んでいます。経験が浅いメンバーの多い中、対外試合で結果を出すことは容易ではありませんが、県リーグ三勝以上、選手権大会初戦突破に向けて、チーム一丸となって日々活動に取り組みしていきますので、引き続き応援をよろしくお願いします。



## 弓道部

弓道部は現在三年生四名、二年生五名、一年生四名の計十三名で活動しています。弓道は県内ではほとんどの高校生が、高校から競技を始めます。主な試合として、インターハイと弓道選抜大会があります。

白山高校弓道部は、過去には県大会で活躍し、東海大会でも準優勝を納めるなど県内外を問わず活躍していた部活動でしたが、長い間結果が出ない苦しい時期を過ごしていました。しかし、平成29年に全国高校総体に五十年ぶりに出場したことを皮切りに、東海高校総体、国体東海ブロック大会、三重県代表に選出、全国選抜弓道大会の出場と活躍の幅を広げていきます。

多くの部員たちが目標を設定し、日々の練習



に取り組んでおり、部活動のモチベーションでも『当たり前のことこそ全力です』ことを意識し、あいさつや日ごろの生活から意識を高くするように心がけています。部活動や学校生活の中で、人としても成長し応援される人になってもらいたいと願っております。

今年度、三年生にとっては集大成となるインターハイがコロナウイルスの影響から中止となりました。多くの部員が、目標としていた試合が無くなり動揺をしております。しかし、部員たちは毅然とした態度で感染防止を意識しながら七月二十四日開催予定の代替試合に

向けて練習に取り組んでいます。代替試合を開催していただけることに感謝をし、良い試合になるように頑張っています。応援よろしくお願ひいたします。

## テニス部

テニス部は、少人数ですが、夏の暑い日も冬の寒い日も毎日活動しています。毎週月曜日には、ALTのジョンサン先生にも参加していただき、楽しく練習をしています。テニスを高校から始める生徒も多いですが、日々の練習を積み重ね、テニスの技術を身につけていきます。テニス初心者も経験者も、女子も男子も仲良く体を動かし、汗を流しています。日々の活動とおして、継続して取り組むことの大切さを実感してくれたらと思っています。



## 吹奏楽部

吹奏楽部は、現在三年生二名、二年生一名、一年生三名の計六名で、普段は月曜日から土曜日まで活動しています。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、六月に予定されていた中勢地区高等学校吹奏楽演奏会（フレンドシップコンサート）が中止となりました。これは中勢地区九校の吹奏楽部が一堂に会し、百数十名での合同演奏を行うという大きなイ

ベントですが、特に三年生にとっては最後の貴重な機会が奪われ、残念な結果となってしまいました。

また七月は、本来なら野球部の大会応援演奏に忙しい時期なのですが、それも今年度は出来なくなるなど、異例づくめの年となっています。

ただ、このような状況下ながら生徒のモチベーションは意外にも高く、先輩による初心者への指導、基礎練習の徹底など、連日地道に取り組んでいます。

今後、もしイベントや施設慰問等の機会があれば積極的に参加すべく、

## 美術部

準備を整えておくつもりです。また近隣の中学校や、地元白山町に本拠を置くビッグバンド「Jazzband HAKUSAN」様との交流も図りながら、地域に貢献できる活動を模索していきたいと考えています。

美術部は、現在三年生が六名、二年生が二名、一年生が二名の計十名で行っています。

美術部の活動は、月・木の週二回ですが、顧問の許可を得れば、他の曜日も行いうことができ、他の曜日でも美術室に来ては、作品作りに取り組んでいる生徒も多くいます。



昨年度は、私立大学や三重県が募集するイラストコンテストや、みえの森フォトコンテスト、そして本校図書館の「白山高校生に読んでほしい本」の、表紙の絵を描かせてもらう等様々なことに挑戦し、文化祭では、これまでの取り組みをまとめて展示させていただきました。

今年度は、昨年度に引き続き、水彩画・写真撮影だけでなく、生徒の得意分野と顧問の得意分野を活かして取り組み活動をさらに広げていきたいと考えています。

## 書道部

書道部員は、一年二名、二年一名、三年三名の六名です。他の部活動との掛け持ちの部員もあり、全員が揃うことは難しいのですが、それぞれが放課後に書道室で練習に励んでいます。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で、三重県高等学校文化連盟書道部門の行事がすでにいくつか中止となり、他校の生徒との交流が出来なかつたことが残念です。今後の大きな行事は、「みえ高文祭」「生徒・教員展」での出品・展示があります。校内の文化祭でも「書作展」を実施

し、書道部員の作品を展示する予定です。多くの方に見ていただければ、幸いです。



## 家庭部

家庭部は、現在三年五名、二年四名、一年一名の計十名で活動をスタートしました。

例年は、入学式でのピラ配り、クラブ紹介での発表などを経てからのクラブ登録となりますが、クラブ紹介もなく、六月九日にやっと今年度の家庭部の活動がスタートでき、ホッとしています。

例年では、活動として、お菓子作りや様々な調理を行なっていますが、

新型コロナウイルスの感染予防として、一学期は調理室を使つての活動を休止し、被服室で布を使つての小物作り、カバン作り、マスク作り、レンジを使つての雑貨作りを行なつていきたいと思っています。

昨年の文化祭では、ガトーショコラ、クッキーを作り、販売しました。たくさんの方に買って頂き、部員一同達成感を感じ、充実した活動ができました。今年の文化祭は、様々な状況変化が予想されますが、物作り



の楽しさを共有しながら、部員みんなで協力し合い、活発な活動をしていきたいと思っています。よろしくお祈りいたします。

## 茶道部

茶道部は、校内の活動だけでなく、君ヶ野ダム公園桜祭り、家城地区文化祭、一志病院健康のつどいなど、校外のイベントにも参加し、地域の方々とのおふれあいを大切に行っています。また昨年度は、白山市民会館で行われた、夏休みキッズ学習支援プロジェクトに、高校生ボランティアとして初めて参加しました。学習の支援だけでなく、小学生に呈茶を行い、貴重な時間を過ごすことができました。一緒にお抹茶を楽しんだ小学生たちが、茶道に興味を持ち、将来白山高校の茶道部で活躍してくれることがあったら嬉しいなど感じました。

残念ながら、昨年度後半は、イベントのいくつかが新型コロナウイルスの影響で中止になりました。また、今年度は休校にともない、普段のお稽古のスタートも遅れてしまいました。しかし、部員一人ひとりが茶道を楽しみ、茶道を通して貴重な経験

を積み、また地域に貢献できるようなクラブ活動を、今後とも行っていきたいと思えます。



## 商業部

商業部は、平日の放課後に週三回の活動を実施しています。活動内容は、ビジネス文書検定や情報処理検定などの資格、一級合格を目指して自主的に勉強をしています。特にワープロ競技会には積極的に参加しており、昨年度は三回の競技会に参加して、入賞まであと一歩の所まで来ています。

資格取得や競技会参加の他に、地域ボランティアや地域イベントへも

積極的に参加しています。昨年度は、津ポートでの震災復興イベント、伊勢奥津駅の清掃活動などの活動に参加させていただきました。

また、リバーパーク真見の春・秋フェスタ、産業教育フェア、ふれあいフェスタin白山などの地域イベントで、本校オリジナル商品「白山フランク」の販売実習を行いました。地元の方との交流の場で、多くのご意見や激励をいただきましたので、今後の活動のエネルギーにしたいと思います。

三月以降は、予定されていた名松線復旧記念イベントなどの地域行事が中止となり、しばらくは校外活動に参加できていません。状況回復を待って、津市のイベントに参加できることを待ち望んでいます。



## 人権サークル

今年度の人権サークルは現在三年生二名のみとなり、兼部の生徒もいる中ですが、着実に活動しています。

中勢地区の高校生や特別支援学校高等部の生徒たちが集まる「中勢地区高校生人権活動交流会」(月二回程度)に積極的に参加し、志を同じくする他校の生徒と学びを深め、活発な意見交換を行っています。また、今年度7月から「みすぎ高校生友の会」にも参加し、少しずつ活動の幅を広げています。

また、白山地区在住の高校生が集まる「はくさん高校生友の会」(月一回程度)にも参加し、すでに高校を卒業した先輩たちから学ぶとともに、他校に進学した高校生と意見交流を行っています。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で、な



かなか交流会が開催されない中ですが、生徒同士のオンライン交流会も実施されており、三重県教育委員会主催の「地区別人権学習活動交流会」や白山市民会館企画運営によるイベント等への参加を念頭に、可能な限り校外の活動にも活動の幅を広げていきたいと考えていますので、みなさまの御支援と御鞭撻を宜しくお願いいたします。

## 部活動の再開にあたり

六月から学校が再開され部活動も段階的に再開されました。再開にあたり、使用した場所や道具の消毒や、保健部が中心となり手洗い指導を行っています。



手洗い指導

